

動労千葉結成10周年!

総武支部は、十一月二十日、第一波ストをうちぬくなかで、第二回定期大会をかちとった。

十四時、スト突入者を拍手で迎える中で、関副支部長の開会宣言で開始し、川崎(西船橋)氏を議長に選出し、議事が進められる。

総武支部は、今年六月二日に結成してまだ一年にも満たないが、この間、長田支部長を先頭に、さまざまな活動をやりきり営業職場の支部としての役割をはたすため奮闘してきた。

困難性もあるが、強制配転への怒りをバネにして闘いぬいている。

長田支部長もあいさつで、「今日、こうして大会を成功させるにもみなさんの大変な努力があった。第一波ストの中心が

総武支部 ストの中で第2回定期大会かちとる 11-20

と強調されていた。

質疑応答では四人から発言をうけ、吉野支部書記長と本部答弁で方針を深めた。

主な発言は、「今回のストもスムーズにやれたわけではない、迷ったり

せない」「組合員の連帯感を深めるため、どうするか」「当局は士職の高令者対策を考えていない、強く要求していこう」等々といった積極的意見が出され、ザックバランスに討論をおこなった。また

連帯感を深める意味からも「支部情報」を発行することを決定した。

総武支部役員体制

支部長	長田敏之 (千葉駅)
副支部長	高野 隆 (船橋駅)
書記長	関 一夫 (千葉駅)
執行委員	吉野幸成 (亀戸駅)
"	関 道利 (小岩駅)
"	岡安正人 (西船橋駅)
"	大塚 明 (本千葉駅)
会計監査	岩瀬文男 (小岩駅)
"	福島和彦 (西千葉駅)

士職登用 千葉支社! 挑戦的に 事前通知も強行 弾劾!

JR千葉支社当局は、士職登用について十一月二十二日事前通知を強行してきた。

その内容たるや、この間の団交の経過一切を無視し、かねてから動労千葉が要求していた「差別・選別を行わず年次別に平等に登用せよ」というごく当たり前の要求を踏みにじり、JR総連六名、鉄産労一名計七名の「登用」となっている。

この露骨な差別・選別

に我々の胸は怒りで張り裂けんばかりである。

我々の当然で切実な要求、気持を逆なでするようなやりかたを断じて許すことは出来ない。

いうまでもなく、この背景には、JR総連・革マルの画策があり、JR当局と革マル一体となつた五五・五七予科生に対する切り崩し攻撃であると断言せざるえない。

「安全」を無いがしるにして労組差別、動労千葉、国労つぶしにのみ汲

汲とする千葉支社当局の 怒りも新たに二波、三波、異常な経営姿勢をこれ以上許してはならない。 波ストに立ちあがろう。

★ 11/30 PM6

★ 若者福祉会

総決起集会

(全力参加)

2波スト負徹

3波ストへ